

MIRS2602

テーマ発表資料

2026.6.26

01 テーマ発表

02 課題と解決策

03 PoC構想

04 プロジェクト名発表

01 テーマ発表

02 課題と解決策

03 PoC構想

04 プロジェクト名発表

MIRS2602 テーマ

立ち会い試験を支援する

立ち会い試験とは

発注者・利用者 立会いのもとで 実施する動作確認試験



01 テーマ発表

02 課題と解決策

03 PoC構想

04 プロジェクト名発表

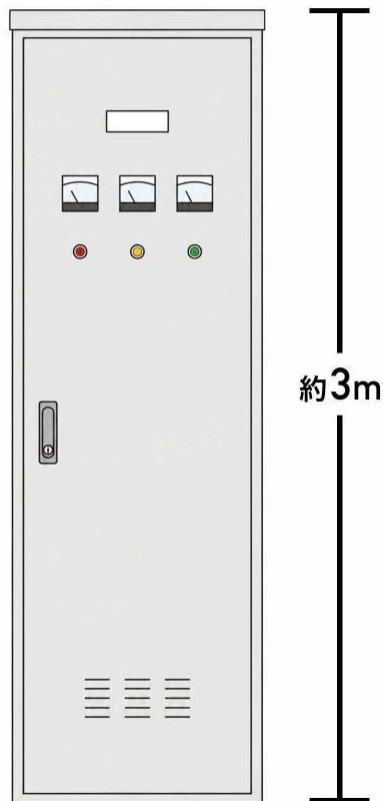
現状の立ち会い試験の課題

危険な高所確認作業



書類作成による待ち時間





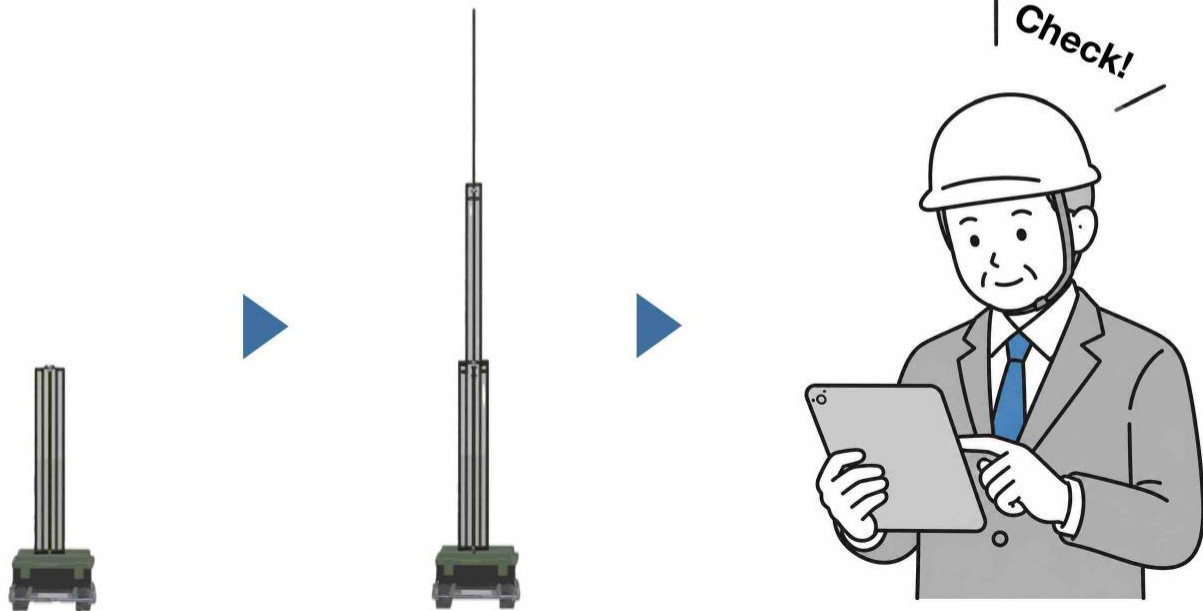
課題① 危険な高所確認作業

- ・ 立ち合い試験では屋根部分の確認も必要
(排気口・雨水の排水構造など)
- ・ 確認のためには脚立を使用する必要有り
- ・ ご年配のお客様も多く、転落時の怪我の
リスクが高い

▶ 安全に高所確認を行う仕組みが
求められている

解決策① 昇降カメラによる高所確認

昇降機上部に搭載したカメラを配電盤上部まで伸ばし、
映像をリアルタイムで確認する。



課題② 書類作成による待ち時間

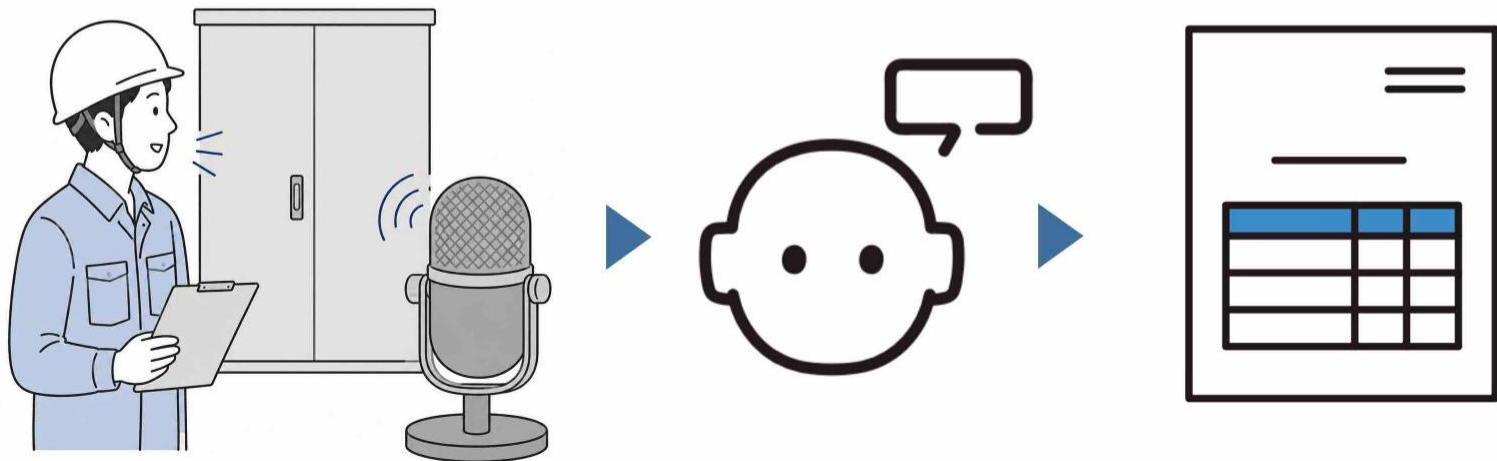
- 立ち会い試験終了後、試験結果を成績書として記録
- お客様からのご指摘事項や確認事項等をまとめ、議事録を作成
- 書類作成の間、お客様の待機時間が発生

▶ 書類作成時間を削減する必要がある



解決策② 成績書・議事録作成の自動化

試験中の音声をリアルタイムで文字起こしし、
成績書・議事録フォーマットへ自動で反映させる。



01 テーマ発表

02 課題と解決策

03 PoC構想

04 プロジェクト名発表

全体構想

- ・ 立ち会い試験の試験員に追従して配電盤まで移動
- ・ 配電盤前では昇降カメラによる高所確認
- ・ 試験中の音声を録音・文字起こしし、書類作成を支援

▶ 以上を搭載したロボットを開発することで、
立ち会い試験を支援する

システム構成 / PoC目標

1 昇降機

2 走行系

3 カメラ

4 書類作成

1 昇降機

アルミフレームを使用し、モータなどの部品を
選定しながら実際に昇降するのかを検証する

2 走行系

LiDARを用いて人物の足を検知し、追従走行の
基礎となる人物検知機能を検証する

3 カメラ

カメラ映像取得および遠隔確認に必要な
通信方法・機構を検証する

4 書類作成

リアルタイムで文字起こしをするシステムを
開発し、書類作成を支援できるかを検証する

01 テーマ発表

02 課題と解決策

03 PoC構想

04 プロジェクト名発表



高見舎

TAKA-MEER

- ・ "ミーア"キャットとのダジャレで
高所確認のイメージを確保
- ・ "屋"ではなく"舎"を使うことで
明電舎との関連性を持たせる

ありがとうございました
